

2015年9月1日 発行 (VOL.145)

みんなの広場NEWS



ちょうふくん

〒182-0026 調布市小島町2-33-1 文化会館たづくり 11階
生涯学習交流推進課 生涯学習情報コーナー TEL042-441-6155

「大人の塗り絵倶楽部」は、初心者の方の身になって作った教材に、子ども時代に経験した塗り絵を思い出し、正しい塗り方や彩色の仕方など水彩画を学ぶことを目的に活動しているサークルです。9月7日(月)から13日(日)まで「大人の塗り絵倶楽部展示会」をみんなの広場で開催します。代表である荻野富雄さんから寄稿していただきました。

中高年の人達が趣味を持ちたい理由の一つに、「認知症」予防があるようです。水彩画は「手先と目と頭」を少し使って楽しむものなので、多忙な過去の日を忘れる時かもしれませんね。趣味は長く続けてこそ充実感が湧き、同じ趣味友達が増えてくるものです。

高級なイメージの油彩画・水墨画と違って初心者が入りやすい水彩画でも、既に上達した会員ばかりの教室ですと少し不安かもしれません。「大人の塗り絵倶楽部」は初心者対象のサークルですが、定員12名の会員に対して、私と齋藤幸子さんで指導しています。

子供時代にクレヨンで描いた塗り絵が、水彩絵の具に代わっただけと置いていただければ上達は早まります。100枚以上の原画は指導者が描いたオリジナルなので、会員の個性を引き出すことを指導の基本にしています。塗り絵の手本にする原画は入会時から2カ月ぐらいは動物と鳥類を選び、私と齋藤さんが描いたデッサン画(鉛筆画)に彩色するだけですが、時間のたつのが早



いのに驚いているようです。

野菜・果物・花などは4カ月ぐらいで、その後は静物や風景などの難しい彩色が加わります。描き始めてから丁度2年経過した9月に展示会を開催しますので、彩色に苦労した風景や人物などの展示に驚くかもしれません。

無料体験教室のお知らせ

『文化会館たづくり教室』

第2・4金曜日 午後1時30分～3時30分

『市民プラザあくろす教室』

第1・3金曜日 午後1時30分～3時30分

※無料体験教室に参加ご希望の方は

荻野 (080-6819-2986) まで

「今日という日は 残りの素敵な人生の スタートの日です」

◆◇◆ 菱刺し作品展（南部菱刺しの会） ◆◇◆

伝統技術「南部菱刺し」を伝えるために集まって作品作りをしている「南部菱刺しの会」が、9月19日（土）から25日（金）までみんなの広場で作品展を開催します。同サークルの長岡喜美子さんに南部菱刺しについてご寄稿していただきました。

南部菱刺しは、青森県八戸地方に200年程前より伝承されている刺し子の一種です。寒冷地の農民の衣服は麻布に限られていたので、防寒と耐久の為に貴重な木綿糸や毛糸で刺し子をして用いていました。荒い目の麻布の縦糸を2本ずつすくって、菱形の模様をつなげ、野良着の肩、たっつけ



（ズボン）、前ダレ（前掛け）等に、女性が農作業の合間や家族の寝静まった夜に、一針一針心を込めて刺し綴りました。

模様、色、組み合わせ方を工夫し、嫁入り前の娘は嫁入り道具として何枚もの前ダレを刺したそうです。もう嫁入り道具を用意することもない私達ですが、その素朴ではあるが洗練された模様に魅せられ、集まって刺す時を楽しんでいます。身の廻りの小物や持物に応用しています。作品にはそれぞれの個性が表われ重厚であったり、ユニークであったり、思わぬ発見があります。

毎月第3月曜日に「みんなの広場」に集まり、作品の進行具合を見せ合い、手も口も同時に進行のにぎやかさです。それぞれ抱える家族の事情は様々ですが、ひとときのおしゃべりや糸や布に元気をもらっています。さあ！来月までにどのくらい進んでいるのかしら？と楽しみが続きます。

今回の作品展は、菱刺しの原点である前ダレの製作に挑んでみました。南部菱刺しの技と美の世界に触れてみてください。



私の「続けられたこと・続いたこと」②

続けられたことを挙げると問われたら、即座に「登山（今はハイキング）」、「パチンコ（今は一パチ）」、「映画鑑賞（午前十時の映画祭中心）」、そして「食ベログ三・五以上の大衆酒場探訪」と答える。

時間潰し、暇潰し程度のものかつて。その為には少しぐらいお金を使っても惜しいとは思わない。それをやっていたら、時間を忘れ、嫌なことがあっても全てを忘れてしまう。若い時にやっていた、途中で止めたものもあるが、思い出してまたやりだした年を取ってから面白さが続いている。

人間の楽しみとか喜びとかは、個別、個人的なもので、他人から物好きと思われるも自分の感性にフィットしたものなのだ。自分にフィットしたものが続けられるのだと思う。

年取ってからスタートして「本物の生きがい」にするのはかなり難しいと思うのだが…。

（生涯学習交流推進課主任 鈴木由紀夫）